

YONEX とはカーボン形成技術において高い技術力を誇るスポーツ用品メーカーであり、「独創の技術と最高の製品で世界に貢献する」という企業理念のもと様々なスポーツ用品を製造しています。

コーポレートカラーは「空」と「大地」に由来する青と緑の2色であり、そこへシンボルとして創業者である米山 (YoneYama) の2つのYをとった「yy」のロゴを組み合わせてデザインされています。

今回はテニスを焦点に置き、光と音を駆使した空間 YONEX の製品の素晴らしさ、使いやすさを全面に押し出した展示ブースをデザインしました。



## 想定イベント

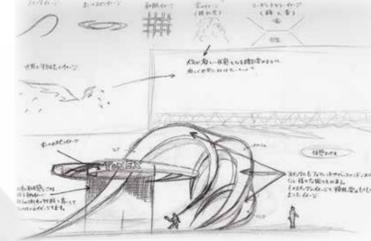
国内某イベント会場で開催されるスポーツ用品メーカーの見本市に参加するという想定で作成しました。世界各地や全国からたくさんの来場者が訪れる展示会に YONEX が参加することで認知度が上がると共に、YONEX の誇るテニス製品や技術がより有名となり、注目を浴びるようなブランドになると考えました。

## 「光」で感じる

光は照らす場所や色によって人に様々な心理的効果をもたらします。例えばオレンジの光は恐怖やプレッシャーによる心の不安や抑圧を取り除くといった効果があります。

このような光を活用し、YONEX が持つ爽やかで明るい空間を演出します。具体的には、ブースの真ん中で激しく優雅に動くロボットを起点に、動きとシンクロさせながら光のラインがスイングイメージの造形物の間を走り抜けます。光の色はコーポレートカラーであり、爽やかさを表すブルーと癒しと成長を表すグリーン、その他にもレッドやイエロー、パープルといった様々な光で幻想的空間を演出します。

## 初期デザイン案



メインとなる空間はボールのスピンをイメージした造形物を作り、そこから YONEX が製造するストリング・ガットを延ばして、延ばしているストリング・ガットは日本の和をイメージさせる格子柄のように縦横に張り巡らせています。

スイングをイメージして作った曲線状の造形物は、積乱雲のような激しさを持たせて、インパクトある形としています。

## 最終デザイン案



メイン空間ではロボットがテニスの動きをするように激しく動作し、その動作に合わせるように、スイングイメージの造形物の間を光が走り抜けるような設計となっています。造形からのびるストリング・ガットは全て縦のラインで統一しました。ディスプレイ空間では YONEX が製造しているラケットやユニフォーム、シューズを展示します。図面右側は商談スペースとし、YONEX の持つ技術の掲示や良さをアピールしたりする想定となっています。空間全体を「幻想的な空間で YONEX を魅せる」というようなデザインにしました。

